

1. 日 時 令和5年1月15日（日）午前10時～12時
2. 場 所 西府文化センター 講堂
3. 出席者 20名
4. 書 記 芝喜久子

5. 地域市民の集いの概要 【司会進行：谷本事務局長】

(1) 挨拶 志水会長

(2) 府中市自治会連合会役員と出席者自己紹介

自治会連合会：志水、谷本、椋田、山岡、筒井、林田、川辺、久保寺、成田、芝（10名）

片町文化センター圏域：高野、松村、長谷川、上村、米村、田中、安藤、松本、関口、藤原（6団体：10名）

（今回の自己紹介は町会紹介のテーマを事務局から伝えられて始まった、各町会の抱える問題が解った。）

(3) 府中市自治会連合会／自治会についての説明（谷本）

懇談会の時間を多く取りたいので省略。

(4) 四部会の活動状況

・市民協働対策部（山岡）

市の市民協働推進会議に参画し市と協働、市民協働まつり盛会だった。自治会活動賠償保険の説明と推奨。

・生活安全対策部（林田）

この部は防災対策が主。災害を中心にトランシーバー訓練、ラジオ府中の「防災まちづくり」で啓発。安心安全で暮らせる町になるため取り組んでいる。

・環境対策部（川辺）

現在増えている町の空き家対策の関係を学びながら、府中市の空き家対策協議会に参加している。年1回の視察研修（ビッグサイト）実施。

・福祉対策部（久保寺）

府中市と連携して高齢者の要援護。府中市の福祉まつりが実施され自治連合会のブースも出た、実行委員会に参画。年1回の視察研修（ビッグサイト）実施。府中市・福祉協議会等各種の委員会に参加。

・デジタル部会（仮称）について（椋田）

4月から部会を稼働させる為に動いている。各町会のデジタル化を促進出来るように、幾つかの政策を進めることの準備をしている。たとえば・機材の貸し出し(タブレット30台揃う)・ソフトウェア等の準備・サポート体制の準備等。

(5) 懇談会

①懇談会に入る前に事務局から、各自治会のコロナ禍の三年間の活動を紹介して欲しい旨があった。

②最初の1年は活動できなかったが役員だけはメール配信で連絡をとりあった。飲食がとれないとコミュニケーションが取れにくい。3年目はスマホ教室を開催した。

③飲食を取る行事が一切できていない、反省会がなりたっていない。

④うちの自治会は役員が比較的若いので、コロナ禍からズーム等デジタル化は進んでいると思う。LINEを使えない方にはどうしたらよいのか？

⑤コロナ禍で大きなイベントは出来ていない、役員会の回数も減った。デジタル化はまだ進めていない。

2年目からは資源回収のお礼の品物は渡すことが出来ている。

⑥コロナになってからは役員会の手紙はメールと紙ベース、LINE化はまだまだだ、餅つき大会の行事は出来るようになったが、食べずに持ち帰りにした。失敗談として話す、スマホ教室を開催したが参加希望者はゼロだった。

⑦自治連のホームページは見ているが各町会や自治会のホームページは無用と思う。自治会の問題は裸にする必要はないと思う。デジタル化もスマホに興味を持ってもらうことから入ると良いのでは、音声入力もよくなってきているのでそこから活用していったらよいと思う。

上記以外にも、役員の担い手を探す難しさ、高齢化、空き家対策等、各自治会の抱えている問題は共通して話題にのって役員のご苦勞も垣間見られた。その中でデジタル化を進める難しさもあるようだ。時間いっぱい自由討議され充実した意見交換となった。

(6) 閉会 谷本事務局長

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--